

12月 4日（水） 新聞掲載

（11月28日 公開授業）

11月28日に近隣の小・中・高校の教員対象の「公開授業」を実施しました。

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、教員の理解を深めることを狙いとして実施しているものです。授業担当者や見学者が互いに意見を出し合い授業力の向上を狙っています。

公開された1年生「コミュニケーション英語1」の授業＝神栖市土合本町の県立波崎高

小中高  
教員対象  
波崎高が公開授業

### 主体・対話的学び実現へ

神栖市土合本町の県立波崎高（秋山克巳校長）は11月28日、同校と近隣小中高校の教員を対象にした公開授業を行った。小中高校の次期学習指導要領が重視する「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、教員の理解を深めることが狙い。授業を担当した教員や見学者が互いに意見を出し合い、授業力の向上を図った。

公開されたのは、1年生の「コミュニケーション英語1」、2年生の「地学基礎」、3年生の「通信技術」の授業。担当教員は、グループワークの時間を長くしたり、生徒との会話の中に回答へのヒントを盛り込んだりして、主体的・対話的な授業を展開した。

授業後に行われた研究協議で、担当教員は「生徒の興味が湧くように、身近にあるものを題材にした」「分からないところを聞かれたら、すぐに答えを教えず教科書の内容に書いてあるかだけを教えた」と、授業で意識したポイントを教えた。深い学びをどう捉えるべきか」との疑問も出され、それぞれの考えを話していた。

同校した県立神栖高の英語講師、島田千之人は「この授業でも、生徒が自ら学ぶ姿が感じられた。導入部でいかに興味を持ってもらうかが大事だと感じた。全てが勉強になった」と充実した表情だった。

（矢嶋博那子）

# 茨城新聞 2019年12月4日